

令和6年2月6日

貝塚市議会議員 南野 敬介 殿

公明党議員団視察報告書

公明党議員団
前園 隆博
谷口 美保子
堺谷 裕

■視察 1日目

日時 1月24日(水) 10時30分～12時

場所 千葉県習志野市役所

面談者 習志野市議会 副議長 布施 孝一 氏

議会事務局 次長 濱田 祐美 氏

健康福祉部 社会福祉課長 安達 幸希 氏

目的 終活支援、終活べんり帳について

背景・経緯 当初検討した終活事業 行旅死亡人・引取人のない死亡人の増加

⇒市が仲介となり、葬祭事業者と生前契約を結ぶ

⇒法が想定していない事態が生じる恐れがある

遺品整理、口座凍結など市民からの問い合わせに対応できない。

習志野市は市民が元気なうちに終末期の医療や相談などの手続きをはじめとする人生の終末に備えてもらうことで、本人や家族等がもしものときに困ることなく過ごせることを目的に、令和5年8月25日に(株)鎌倉新書と終活に係る連携に関する協定を締結しました。

協定内容

1. 習志野市エンディングノートの作成に関すること
2. 市民に対して終活に関する情報を発信すること
3. 市民からの終活に関する具体的な相談に応じること
4. 市の職員及び関係機関の職員に対して終活に関する研修を行うこと

具体的な内容

- 1) 終活べんり帳 モノの整理、介護、相続、不動産、葬儀・お墓、おひとり様の項目について載っています。



2) エンディングノート

終活プランなどが記載できるようになっています。



3) 講師派遣

民生委員児童委員会全体研修会などから問い合わせ多数

4) 相談ダイヤル

市では答えられない質問に対応できるようになった。

今後の展望

終活べんり帳、エンディングノートの配布等

先進市の調査・研究

一人暮らし・低所得者の終活支援

【感想】

習志野市は鎌倉新書と提携して終活事業を開始しました。お互いにメリットがありましたが、課題等もあります。

本市では、どのような形がいいのか、今後検討して、より良い終活事業が進められるように要望していきたいと思います。



日時 1月24日(水)午後2時～
場所 埼玉県草加市役所
内容 そうかりノベーションまちづくり事業について
説明者 自治文化部 産業振興課長 山田 賢治氏
課長補佐兼リノベーションまちづくり推進係長 吉田 倫洋氏

そうかりノベーションまちづくりとは

一人ひとりに快適な暮らしのスタイルがあるまち・そうかを目指してのまちづくり構想として始められた。

草加市の現状について

- 市民間、世代間、市民と学生におけるコミュニティの不足
- 公共不動産の利活用の必要性
- 都市型産業の不足
- 寝に帰るだけのまち

この課題について検討、改善を目指す。

公民連携のまちづくりが必要である。

☆公共サービスの受益を最大化することが行政サービスではない。

「顔の見える経済循環」の「ハブ」を産み育てる最適な手法がリノベーションまちづくりである。

空き家や空き店舗などの遊休不動産をリノベーションし、再生することで地域の抱える課題の解決につながる新しいまちのコンテンツの集積を図り、短期間にエリア内の変化を生み出す都市再生手法。

- 「家守会社」と呼ばれる民間自立型まちづくり会社や志ある個人事業主が主導する
 - 小さなエリアに絞りその中で次々と変化を起こすことでより短期間で目に見える変化を生み出していく
 - 出来る限り補助金に頼らずに事業化する
- リノベーションスクールを開催し担い手を育て、変化のトリガーを町に放つ、スクール生は50歳以下とし受講生たちが地域経営課題を踏まえたまちの未来を考える。又、職員たちがまちを歩いてリノベーションの材料となる古民家や場所を見つけてくる。

【これまでの結果・成果】

〈第一次対象エリア〉日光街道草加宿周辺

〈派生エリア〉八幡町

草加駅東口エリア周辺においてリノベーションスクール対象案件として9軒の新しいお店ができ、不動産オーナーや創業者自らの手によるリノベーション案件が10軒、新しいまち、楽しく変わり始めたまちが創出された。

谷塚駅周辺エリアにおいてはリノベーションスクール対象案件4軒。

新田駅東口周辺エリアではリノベーションスクール対象案件1軒、不動産オーナーや創業者自らの手によるリノベーション案件が1軒誕生した。

【まとめ】リノベーションまちづくりで変わり始めたまちを楽しみながらまちの事が自分事になり、まちを知ると日々の暮らしが豊かになっていく。

【感想】・・・自分のまちは行政だけではなく市民の皆さんと楽しい方向へ、良い方向へ変えていく、それが本当に大切であり市民協働へと繋がっていくのだと感じました。



■視察 2日目

日時 1月25日(木) 10時～11時

場所 埼玉県ふじみ野市役所5階第2委員会室

面談者 ふじみ野市議会 議長 島田 和泉氏

議会事務局 次長 小林 孝司氏

福祉部 高齢福祉課 課長 齊藤 晶子氏

福祉部 障がい福祉課 課長兼障がい者総合相談支援センター所長 川島 美紀氏

こども・元気健康部 子育て支援課 課長 齊藤 隆之氏

ふじみ野市議会事務局 議事調査係 主任 藤井 大貴氏

ふじみ野市行政視察

～お出かけサポートタクシー～

ふじみ野市の現状

- ・人口 114,325人
- ・世帯数 54,555世帯
- ・面積 14,64km²
- ・65歳以上人口 29,061人
- ・高齢化率 25,4%
- ・日常生活圏域 4か所

お出かけサポートタクシーの概要

- ▶高齢者、障害者、妊娠中の人や未就学児がいる世帯が対象
- ▶受付時間 午前8時30分～午後5時
- ▶ふじみ野市・富士見市・三芳町で運行
- ▶1運行の運賃の半額 最大600円まで助成
- ▶利用回数は年度内（4/1～翌年3/31まで）で24回まで

これまでの経緯

▶平成27年度

市内循環バスの運行計画の見直しのなかで、高齢者、障害者などの移動制約者の移動手段を確保するため、利用対象者を限定し、共通乗降場を設置したお出かけサポートタクシー事業を導入することとなった。

▶平成28年4月

【お出かけサポートタクシー事業開始】

- ・受付時間 午前8時30分～午後5時
 - ・共通乗降場を市内153か所に設置。（平成31年4月現在は344か所。）
 - ・助成金額は、運賃の半額
 - ・利用回数は制限なし
 - ・台数6台（ダイヤモンド交通2台、東上ハイヤー2台、三和富士交通2台）
- ▶平成30年度 市民からの改善要望が多く、利用者に対しアンケートをとる
- ▶令和元年度 お出かけサポートタクシー事業の改善に向けた検討
- ▶令和2年度

- ・運行範囲をふじみ野市、富士見市、三芳町の二市一町に拡大
- ・共通乗降場を廃止し、乗車地、降車地のいずれか一方が市内であればどこでも乗降できるようにする
- ・利用回数の上限を年度内24回
- ・1運行あたりの補助額を最大600円
- ・台数6台（ダイヤモンド交通3台、東上ハイヤー3台）

▶令和3年度

- ・新型コロナワクチン接種に合わせ、台数3台増車
台数6台→9台で運行（ダイヤモンド交通6台、東上ハイヤー3台）

▶令和4年度

- ・台数5台増車
台数9台→14台で運行（ダイヤモンド交通11台、東上ハイヤー3台）

▶令和5年度

- ・電子申請の開始（令和5年12月1日～）

平成30年度 実態調査のため利用者に対しアンケートを実施

平成 28 年 4 月から開始したお出かけサポートタクシーについて、利用者の利用状況や意向を分析する基礎資料として実施

- ▶実施期間 平成 30 年 11 月 26 日～平成 30 年 12 月 17 日
- ▶対象者 1,000 人（高齢 780 人、障がい 84 人、子育て 136 人）
- ▶回収人数 525 人（回収率 52.5%）
- ▶調査内容 利用している年齢、外出頻度、利用頻度、利用する時間帯、制度ができる前の移動手段、利用満足度、改善してほしいこと等
- ▶調査結果
 - ・本事業の利用者は、既にタクシーを利用している方が多く、主な利用については、通院や買い物となっている。
 - ・回答者からの意見や要望として、「市外を認めて欲しい」、「利用時間の延長」、「台数の増便」、「共通乗降場の撤廃」等が挙げられた。

お出かけサポートタクシー事業に係る諸費用

- ▶システム賃借料
長寿推進事業一賃借料一機器等借上料として年間 633,600 円（毎月 52,800 円）
- ▶登録証の郵送料
- ▶登録証と封筒の購入
R6 年度から 3 年に 1 回の頻度で購入予定

現在までの課題について

- ① 利用者ニーズの二極化
※医療機関への定期受診で利用している人等、頻繁に利用している人と、日常的には他の交通手段を利用して、機会があれば利用できるよう念のため登録する人と、利用者のニーズが二極化している。
- ②配車依頼の電話が繋がりにくい
- ③コロナ禍で落ち込んだ利用者数の回復

今後の展望について

移動に支援が必要な高齢者、障がい者、未就学児がいる子育て世帯へ引き続き外出機会を提供していくために、持続可能な制度として、地域の実情を踏まえながら適宜制度の見直しを行い利便性の向上に努めていく。

【感想】

ふじみ野市のお出かけサポートタクシー事業は、地域の高齢者や身体の不自由な方々にとって本当にありがたい存在です。このサービスを通じて、外出が難しい方々が自由に移動できる環境が提供され利用者の方々に安心感を与えていると感じました。又、地域の福祉や交通の利便

性向上に大きく貢献しています。高齢者や身体の不自由な方々が外出することで、社会とのつながりや活動の場が広がっていると思います。

貝塚市でも身近な方が高齢になるにつれて外出が難しくなることを感じます。そのような方々が安心して外出できる環境が整備されればと願っております。



日時 1月25日（木）13時～15時

場所 国会議事堂

石川博崇参議院議員秘書の案内により衆議院を見学させていただきました。

26日から国会が開幕するため、その準備のため参議院は見学できませんでした。



【感想】 今回、国会開幕前の衆議院を見学させていただき良かったです。今後、本市の要望を国会議員と連携して実現できるように努めていきたいと思っております。

以上